

作成日 2024 年 12 月 4 日

## (臨床研究に関するお知らせ)

## 大腿骨近位部骨折で入院歴のある患者さんおよびご家族の方へ

社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院リハビリテーション科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、診療情報や検査データ等を解析する「観察研究」という臨床研究で、当院倫理審査委員会で承認され、院長の研究実施許可を得て行うものです。通常の診療で得られた情報等を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

## 1. 研究課題名

回復期病院からみた大腿骨近位部骨折患者に対しての急性期病院での骨粗鬆症治療の状況に関する後ろ向き観察研究

## 2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院  
リハビリテーション科 部長  
松田 茂

## 3. 研究の目的と意義

高齢者人口の増加に伴い大腿骨近位部骨折患者数も増加傾向にある。大腿骨近位部骨折は患者の ADL を著しく低下させるだけでなく生命予後にも影響を与える病態でありさらに一度骨折を生じると再度骨折を生じるリスクが大幅に上昇する。そのため骨粗鬆症治療の重要性が取り上げられ、近年二次性骨折予防継続管理加算が制定され診療報酬の面からも骨粗鬆症治療介入が推し進められている。その中で実際に急性期病院での骨粗鬆症治療介入の実態と、前記の管理加算の算定の有無により介入に差があるか今回の調査で明らかにしたい。

## 4. 研究の概要

## (1) 対象となる患者さん

大腿骨近位部骨折の術後の患者さんで、2024 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までの期間中に、当院で入院リハビリテーションを受けた方

## (2) 研究期間

院長による研究実施許可日～2025 年 4 月 30 日まで

## (3) 試料・情報の利用又は提供を開始する予定日

当院の研究実施許可日

## (4) 利用させて頂く試料・情報

この研究で利用させて頂くデータは、骨粗鬆症の内服の有無、その他の内服の数、前医での入院期間、年齢、当院入院時の日常生活動作の状況に関する情報です。

## (5) 方法

電子カルテより情報と収集します。

5. 試料・情報の提供

ありません。

6. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

7. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんおよびご家族（代理人）の方には、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、既にデータが解析され個人を特定できない場合など、研究の進捗状況によっては削除できないことがありますので、ご了承ください。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

8. 資金源及び利益相反等について

資金源及び開示すべき利益相反はありません。

9. 問い合わせ先

社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院リハビリテーション科

担当者：松田 茂

住所：大阪府高槻市白梅町 5-7

TEL：072-683-1212